

金融庁

消費者信用市場の規制についての国際的な視点

「貸金業制度に関するプロジェクトチーム」事務局会議

2010年1月28日

ポリシスについて

- ロンドンに拠点を置く経済・社会調査コンサルタント会社
- 専門分野:
 - 政府の政策策定支援のための調査
 - 信用・金融サービス市場
- 英国政府のため、規制が国内信用市場に及ぼす影響に関する国際調査を行い、2006年の消費者信用法の立案時に情報を提供した
- 日本の改正貸金業法立案前の2005年に、金融庁と日本弁護士連合会の両機関が英国の規制当局に調査訪問する手助けをした

どの市場における規制当局も、共通の目的と消費者保護に関する懸念事項を共有している

- 規制当局は、以下のことを目的とし、懸念事項としている：
 - 信用供与は経済・社会で重要な役割を果たしている
 - 競争的で透明な市場
 - 貸し手の不当で不公正な手法を防ぐ
 - 責任ある貸付
 - (特に脆弱な借り手に対する)信用コスト
 - 過重債務と破産
- 責任ある貸付、金利の透明性、消費者教育の必要性に対する国際的なコンセンサス
- 金利規制と総量規制については、特に意見が分かれるところであり、規制当局の対応は国によって大きく異なる
- そのため、消費者にもたらされる結果や信用市場が大きく異なるものになる

英国政府のために行った調査で、金利規制や総量規制は予測可能な一連の影響を及ぼすことが示唆された

- 規制が実施されれば、信用の供給が制限される:
 - リスクのより高い借り手は信用へのアクセスを失う
 - これらの借り手とは概して低所得の消費者や小企業である
- 信用供給の減少は借り手に苦難をもたらす
 - 大半は信用が利用できなくてもなんとかやりくりするため、緊急対応時や高額商品購入時に困難に直面する
 - 一部の信用を拒否された借り手は、ヤミ金融を利用する
- 貸し剥がしが起こると経済的困窮が増える
 - 生活を切り詰めている最も脆弱な人たちの資金繰りが困難になる
 - 最も困窮している人たちの破産リスクが増加する
- 消費と経済へのドミノ効果

フランスとドイツでは、規制の重点の違いのため、信用市場が大きく異なる

- フランスとドイツの両国では:
 - 昔から上限金利が、低いレベルに設定されてきた
 - 国営の信用延滞登録機関 – 登録されている個人は融資を受けられない
- フランスは、金利規制と過重債務管理に重点を置いている:
 - 規制のすべての構成要素が厳密に明記され管理されている
 - 上限金利は市場平均金利の3分の4倍に設定されており、最高は1993年の27.09%
 - フランス中央銀行が運営する総合過重債務管理体制
- ドイツは、債務不履行の防止に重点を置いている:
 - ドイツは、自主規制の伝統に依存している
 - 裁判所が定めた上限金利は市場平均金利の2倍で、最高は2006年の21.1%
 - 法律により、延滞口座に適用される金利は正常金利より低い

英国と米国の両国は、金利の透明性と責任ある貸付に重点を置いた、より市場志向のアプローチをとっている

■ 米国

- 最近では、金利の透明性と貸し手の不公正な手法に重点が置かれている
- 実質的に国内市場は、主流のローンやクレジットカード
- 高金利融資は州レベルで規制されている
- 上限金利が設定されている州と設定されていない州がある
- 大半の州（38州）は、小額融資を例外扱いとするか、短期高金利融資を可能とする特別法を設けている

■ 英国

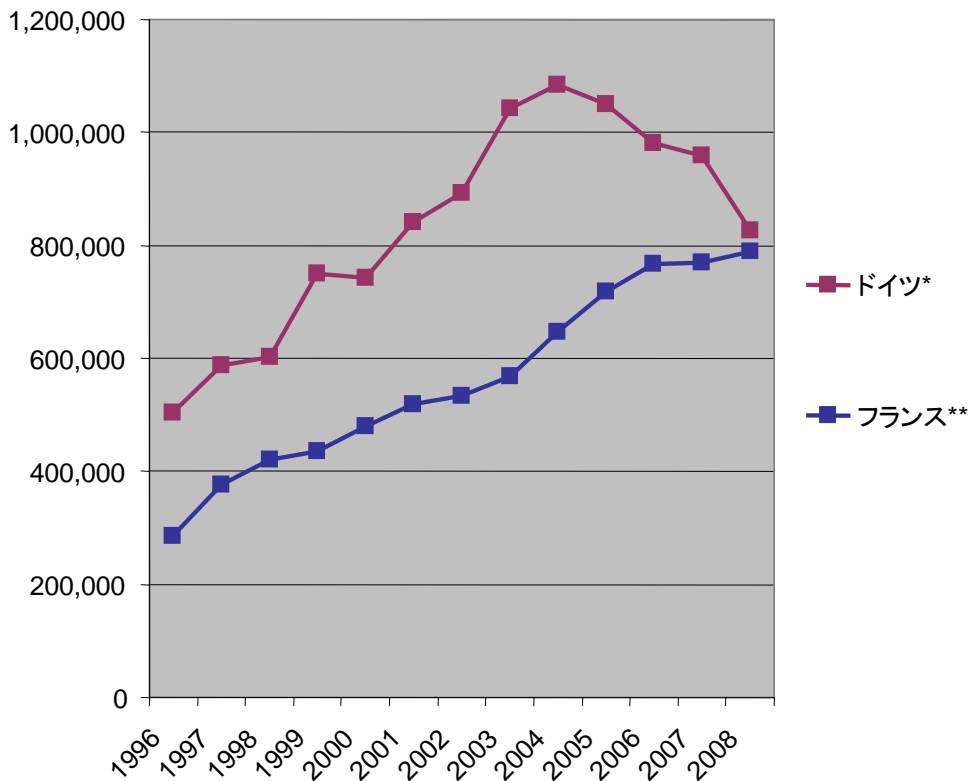
- 金利規制が無い
- 高リスクの借り手への融資に対する規制が無い
- 「不公正」クレジットテストを受ける取り決めがある
- 責任ある貸付が求められている

ドイツでは信用市場から締め出された者の水準が高く、フランスでは債務不履行者の水準が高いという特徴が見られる

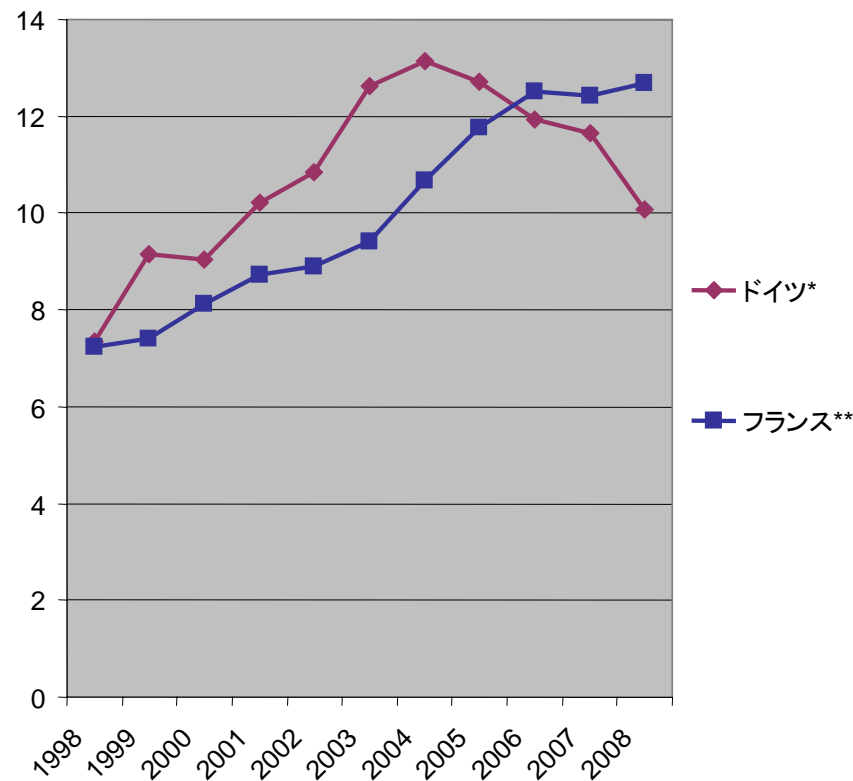
- ドイツでは、債務不履行率は低くなっているが、その代わりに信用市場からの締め出しがあり、消費も低い
 - タームローンの基本とする限られた商品構成となっている
 - 市場の成長が遅い
 - 低所得でリスクのより高い借り手の多くが信用市場から締め出されている
 - しかし、それでドイツの消費者が過重債務に陥るのを防止できているわけではなく、一人当たりの負債はフランスや英国よりもかなり高くなっている
- フランスでは、うまく金利を低く保っているが、脆弱な借り手の経済的破綻者の水準がかなり高くなっている
 - 市場では、低金利のリボルビング信用が主流となっている
 - 信用市場の成長が早く、信用へのアクセスが容易である
 - 延滞率が高く、延滞者は自動的に過重債務管理体制の管理下に入れられる
 - 結果：多数の借り手が過重債務に陥り、金融の本流から締め出されている
- 両国のヤミ金融は、信用の本流から締め出された人たちに集中している

フランスとドイツの両国において、上限金利は、低所得者の過重債務の増加防止につながっていない

過重債務/債務整理手続きを行った人の数



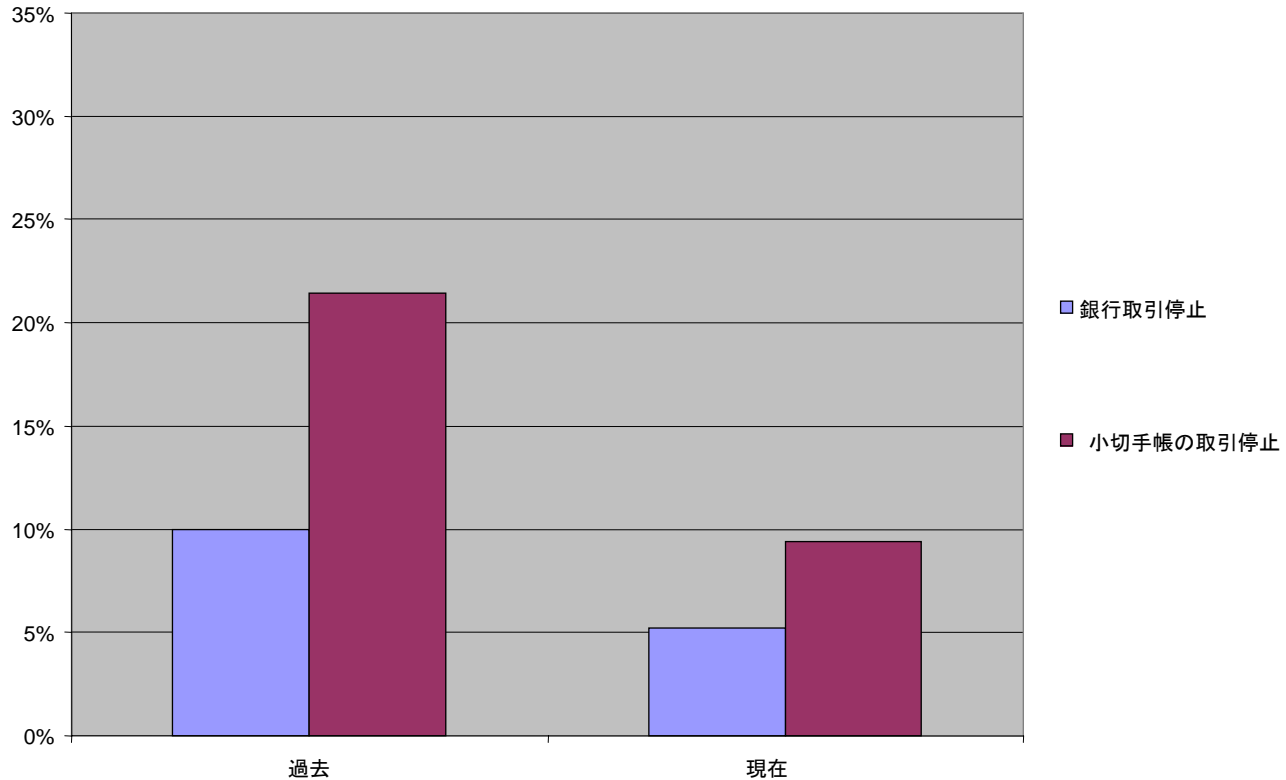
過重債務申請を行った人の数(人口1000人当たり)



出典: Banque de France(フランス銀行), FICP(FICP信用情報機関), Bürgel Wirtschaftsinformationen (ドイツ・ビュルゲルの個人信用情報機関)
 *Eidesstattliche Versicherung (ドイツの債務手続きの一種)
 ** FICP債務手続き

フランスでは、低金利のリボルビング信用で支払いを滞ったために、銀行の主流や信用へのアクセスから締め出されている者が多い

銀行取引停止制度の管轄下で登録されたもの



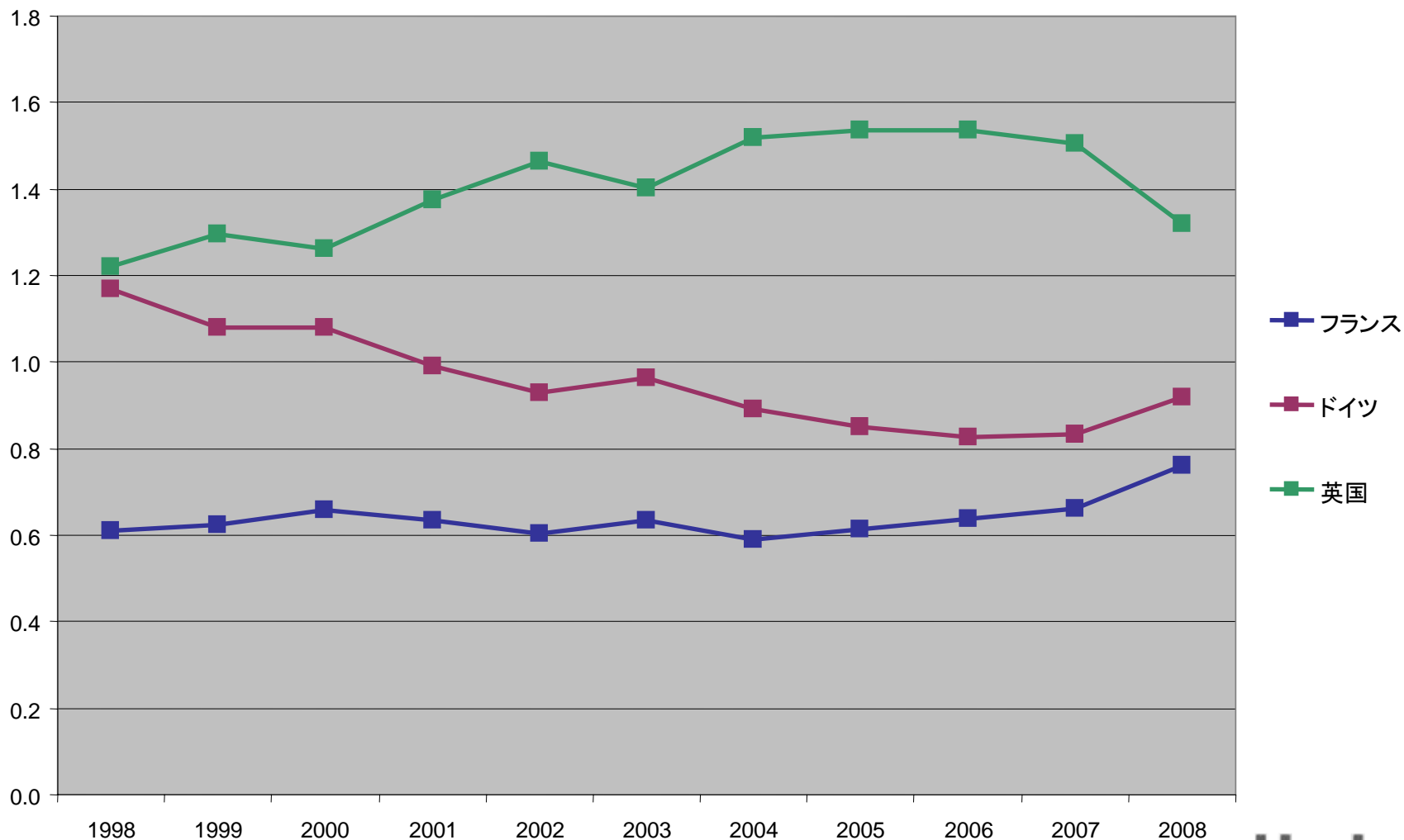
基数: 全ての低所得者

出典: Taylor Nelson Sofres Research for Policis 2004 (2004年Taylor Nelson SofresがPolicis用に行った調査)

低所得者の5人に1人は、「銀行取引停止制度」の対象となり、信用の主流から締め出されている。230万人が登録されている。

英国では、一人当たり負債額はEUで最も高いが、問題債務の発生率は比較的低い

英国、フランス、ドイツ全ての平均に対する一人当たり負債額



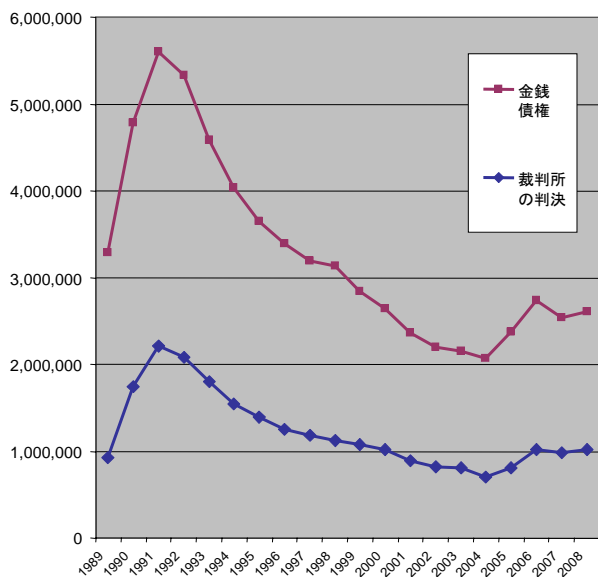
出典: Cofidis(フランスの消費者信用会社), ECRI(米国の私的調査機関), Bundesbank(ドイツ連邦銀行), Bank of England(イングランド銀行), Banque de France(フランス銀行)
1 = フランス、ドイツ、英国の平均

英国市場は、急成長しており、一人当たりの負債額はヨーロッパで最も高いが、深刻な問題債務は比較的低下水準にある

- 幅広い信用モデルと金利設定
- 高リスクの借り手も信用が受けられる
- 非標準的な融資が市場に締める割合は小さい(米国と同様である)
 - 一部の短期小額融資は非常に高金利の場合がある
 - 主流の貸付と「非標準」の貸付の利用において交差度が高い
 - 大規模なソーシャルレンディングのセーフティネットと並行している
- ヤミ金融市場は、フランスやドイツと比べて小さい
- 一人当たりの負債額は、ヨーロッパで最も高い
- しかし 深刻な問題債務の発生率は低い
- 問題債務や破産は最近急増しているが、フランスやドイツに比べると低下水準からの増加である

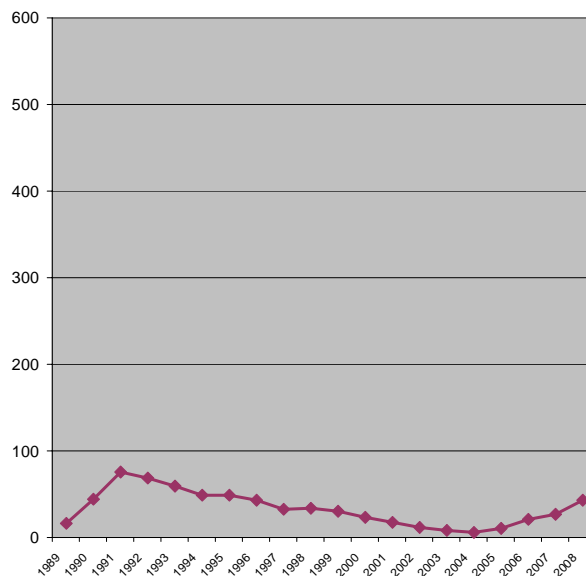
英国では、深刻な問題債務は 10 数年に及ぶ急速な信用拡大の間に下降傾向をたどってきた – 最近、信用供給の収縮により低水準から上昇傾向にある

英国における過重債務の傾向 債務に関する判決



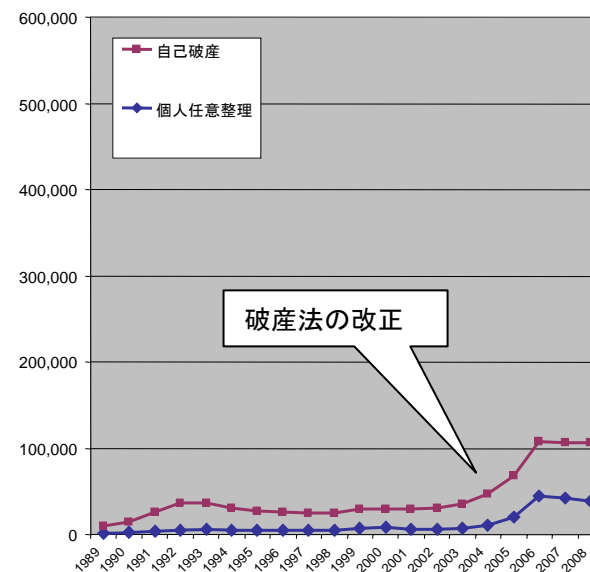
出典: Department for Constitutional Affairs,
The Registry Trust Ltd
(憲法事項省, Registry Trust社)

英国における過重債務傾向 不動産ローンの担保権実行(単位:1000)



出典: Council of Mortgage Lenders
(不動産抵当ローン融資業協議会)

英国における過重債務の傾向 個人任意整理と自己破産

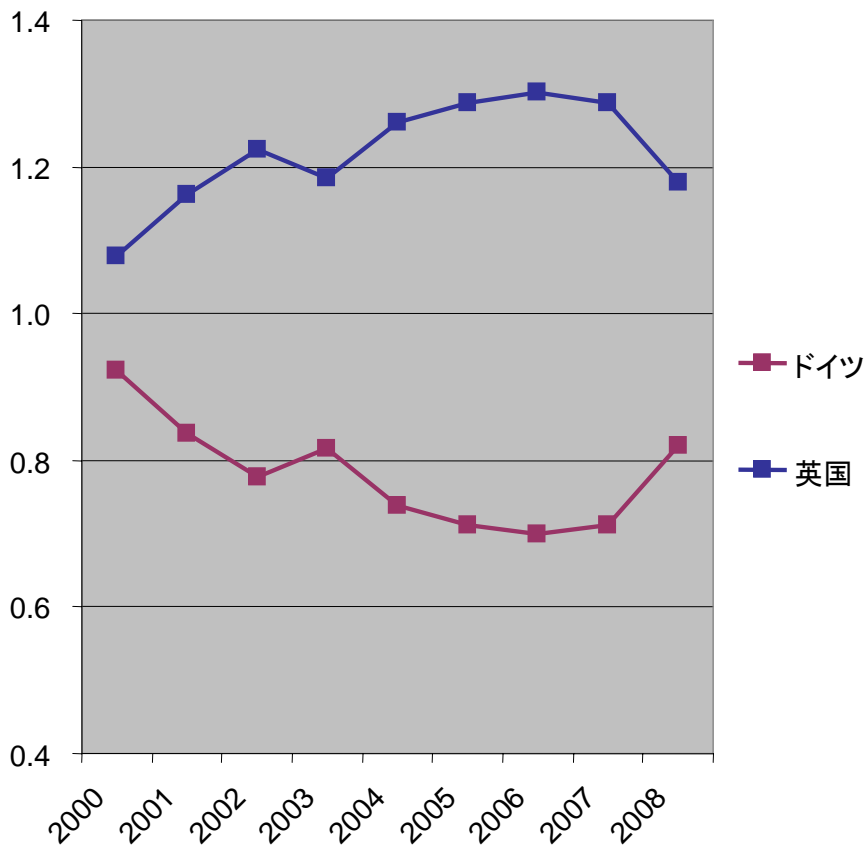


出典: UK Insolvency Service
(英国債務超過局)

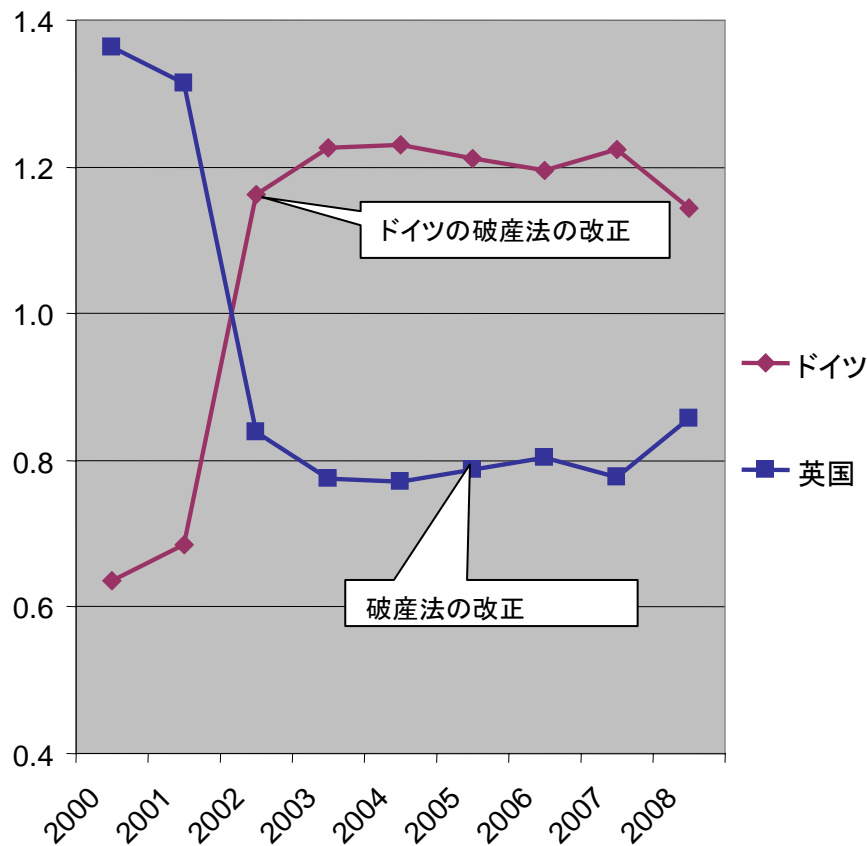
一人当たり負債額は英国の方がドイツよりかなり高いが、人口1,000人当たり破産者数はドイツのほうが英国よりかなり高い

一人当たり負債および人口1,000人当たり破産発生率

英国とドイツの平均に対し指数化した一人当たり負債



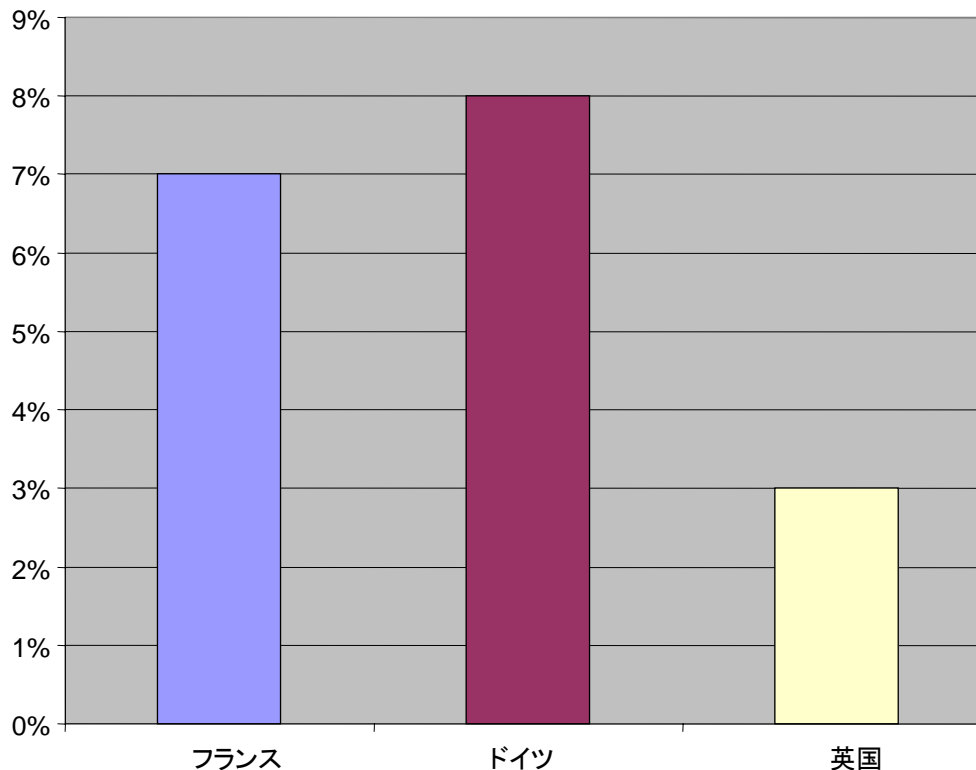
英国とドイツの平均に対し指数化した人口1,000人当たり破産発生率



出典: Bürgel Wirtschaftsinformationen (ドイツ・ビュルゲルの個人信用情報機関), Insolvency Service(英国債務超過局)
1.0 = 英国とドイツの平均値

ヤミ金融の貸し付けは、上限金利が導入されているフランスやドイツのほうが英国よりも高くなっている

フランス、ドイツ、英国において、信用に傷のある者の中で違法貸付が発生した率



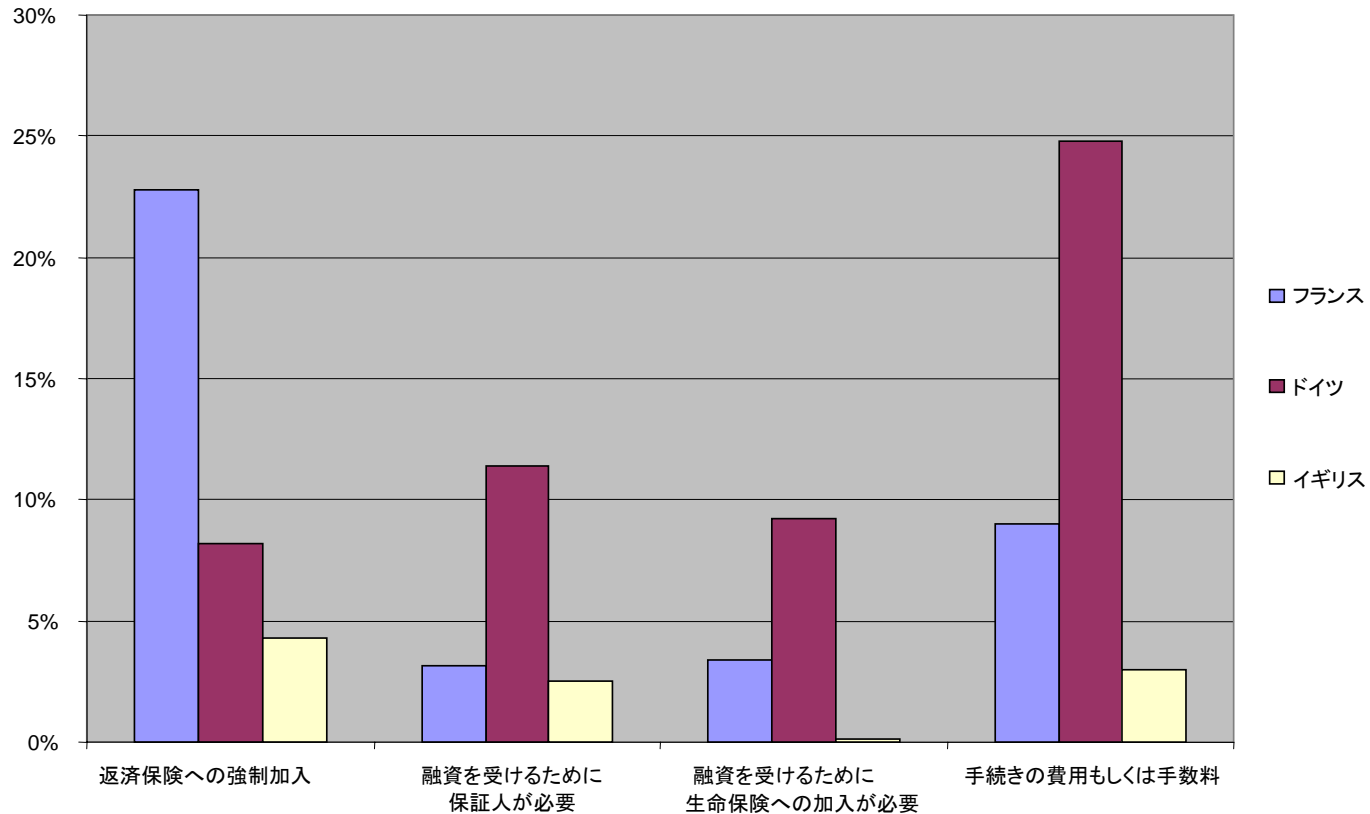
基数:信用履歴に傷がある者

出典: Taylor Nelson Research for Policis 2004 (2004年Taylor NelsonがPolicis用に行った調査)

信用コストの規制は、必ずしも脆弱な消費者に対する信用コストを下げたり、困難に陥るのを防ぐことにつながらない

- 規制が強化または導入されると、一部の借り手はより低金利の信用の恩恵を受ける：
 - 一番信用力のある経済的に余裕のある借り手が恩恵を受ける
 - 支払いが不規則になる傾向のある借り手にとっては信用コストが増加する可能性がある
- もしくは、規制が効果的でなければ、貸し手が上限金利に合わせることになる：
 - 貸し手は、リスクに応じた金利設定ができるような商品・金利構成を採用する
 - 信用コストは、金利以外のメカニズムに移行する(カードの上限を超える場合や、支払いが不規則な場合に、ビヘイビアに基づく料金を請求するのが最も一般的)
 - 金利の透明性が損なわれる
- 辛うじて審査基準を満たす借り手にとってのリスクは：
 - 信用コストが増加するだけでなく
 - キャッシュフローや信用を受ける困難がさらに悪化する恐れがある

フランスとドイツの高リスクの信用利用者は、英国の借り手よりも様々な諸費用が課せられることが多い



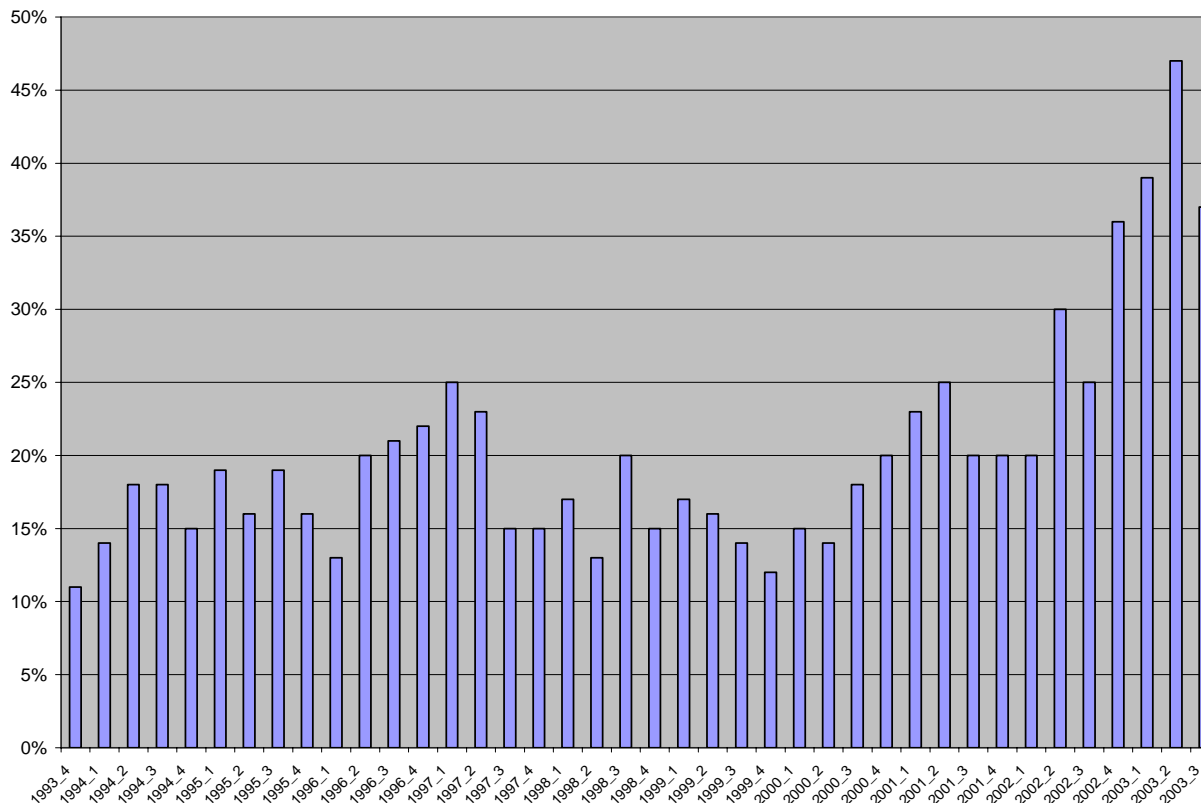
基数: クレジットユーザー

出典: Taylor Nelson Sofres Research for Policis 2004

(2004年Taylor Nelson Sofres Research がPolicis用に行った調査)

高年利の商品が禁止されている米国の州では、他の州と比べて、低年利の信用に加算される違約金が一貫してかなり高い

上限金利が設定されており、高金利小額融資が例外扱いとなっていない米国の州で、リボルビング信用の遅延損害金がより高くなっている率
1993年から2003年までの10年間の四半期統計



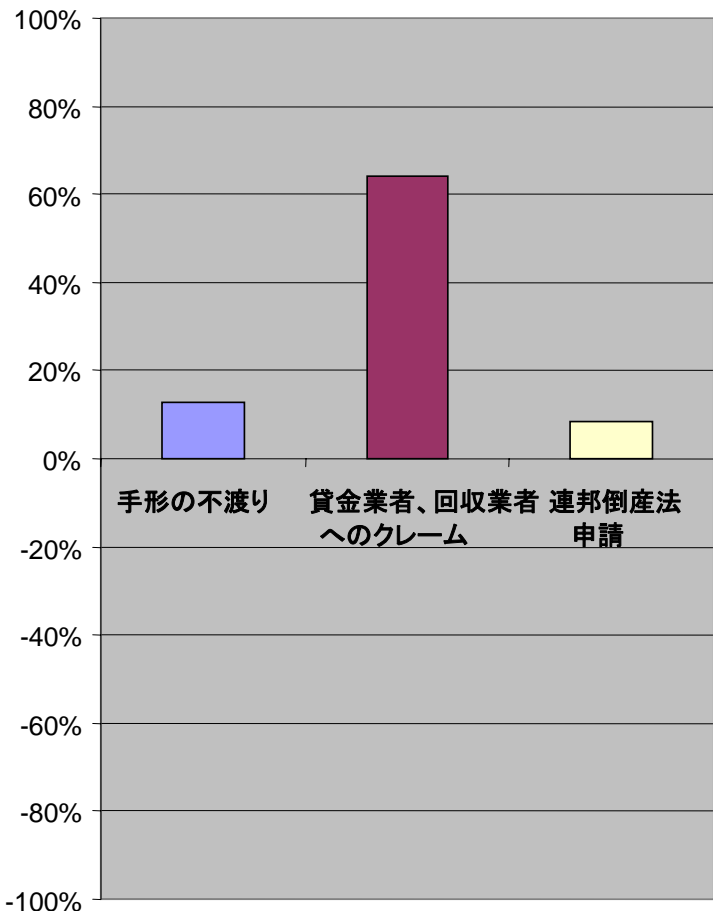
出典: TransUnion (トランスユニオン)

基数: 34万人の米国クレジットユーザー

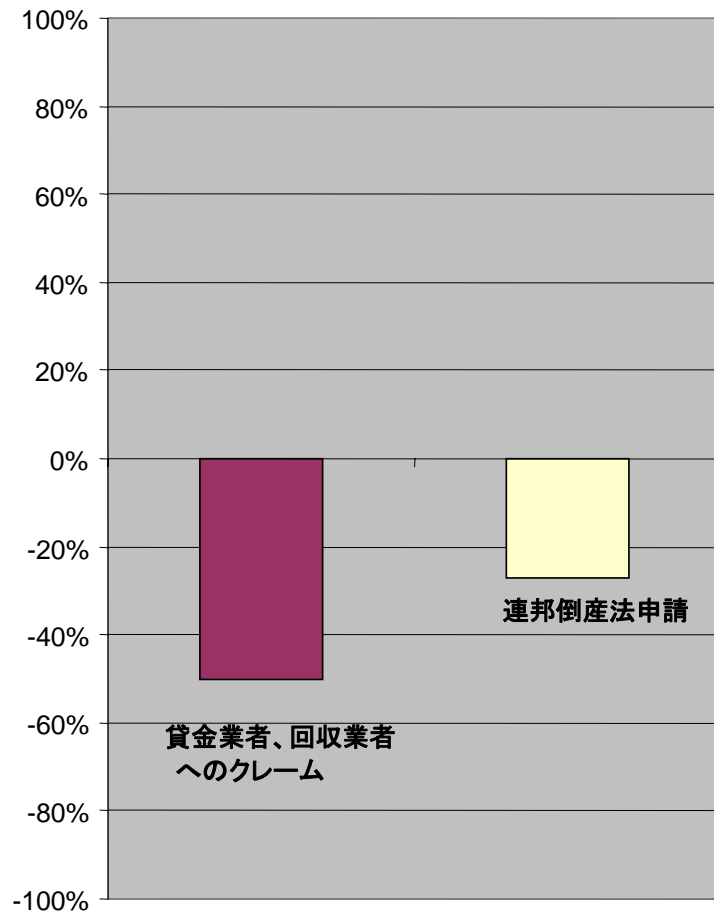
出典: Department of Trade and Industry UK, The Effect Of Interest Rate Controls in Other Countries, Policis, 2004
(米国貿易産業省、他国における金利規制の影響 2004年Policis調査)

ニューヨーク連邦準備銀行の調査により、米国では高コストの信用が禁止された後に経済的困窮者が増加し、融資規制が緩和された時には減少したことが判明

ジョージア州、ノースカロライナ州では、2003年にペイデーローンが実質的に禁止された後、経済的困窮者が増加



ハワイ州では、2003年に高コストの融資の最大融資額を2倍にした後、経済的困窮者が減少



金利や信用供給を規制しようとする、意図せぬ影響が出る可能性が大きい

- 金利規制や融資規制、そしてその結果引き起こされる信用供給の制限は、最も脆弱な立場にある人たちの福祉を害する恐れがある
- 金利規制や総量規制を厳しくすればするほど、信用を必要とし支払能力のある借り手が融資を受けられなくなる可能性が高くなる
- 金利規制の強化は、必ずしも信用コストを引き下げることにならず、不均等な支払条件により信用コストを増加させる可能性がある
- 融資規制や金利規制自体が過重債務を防ぐわけではない
- 規制の強化は、経済的困窮や破産の水準を悪化させる恐れがある
- 合法的な信用を制限すると、ヤミ金融市場を刺激してしまう恐れがある

添付資料1

英国の消費者保護団体は、上限金利が貧困層の利益を損ない、ヤミ金融市場への門扉を開くことになるとして、上限金利に反対する運動を行った



2005年10月21日

私は低所得で問題を抱える消費者の金融に関する専門家の多くの団体を代表してここに意見を提出します。

私達はこの度提案されたクレジット法、特に不公平なクレジットを幅広い観点から指摘をしている19条を歓迎しています。しかしながら、2005年10月24日に国会に提出される予定の内容では、英国に上限金利の導入に繋がる修正案が含まれる可能性があることに深く苦慮しています。私達は上限金利の導入により、低所得者は金融商品の選択余地が狭められ、その結果として無免許の貸金業者へ流れていくと考えます。

最近の調査によると、英国の620万人にのぼる低所得労働者はそれぞれの状況にあった広範囲の金融商品にアクセスすることにより利益を得ていません。

消費者クレジット法を検討する際には、下記の事実を考慮に入れて検討していただきたいと要望します。

- 上限金利の導入は免許を取得している貸金業者がハイ・リスクの債務者を排除することが調査によって明らかになっている
- 上限金利の導入は消費者が現在入手できる様々な金融商品の可能性を制限する。結果として、ハイ・リスクの消費者は例え金融商品を手入手できるとしても、その商品は必ずしも彼らにとって最適のものではなくなる
- 上限金利が導入されれば、より多くの金融商品は物品購入の際のショッピングと結びつくようになり、流通業者はその分割返済のコストを賄う為にその商品の価格を引き上げる
- 上限金利が導入されることにより廃業する貸金業者が増える為、そもそも選択肢の少なかった消費者は金融商品へのアクセスが制限される

- 上限金利の導入により除外されることになった低所得者は、無免許の貸金業者を利用する以外道はなくなる。無免許の貸金業者から借入れる資金コストをとてつもなく高く、その業者による取り立て行為は異常なほど執拗で暴力的なものである
- 更なる上限金利導入の問題点として考えられることは、貸金業者が制限された部分の穴埋めをどこか他のところで行おうとすることにある

私達は英国に上限金利を導入するような修正案が提出されることがないようにここに要望します。この修正案は低所得者に低金利の金融商品を紹介することにはならず、もともと選択肢の少なかった消費者を市場から排除することになると考えます。

テレサ・パーチャード

消費者問題相談アドバイザー

共同提案者:

Advice UK

Association of British Credit Unions Ltd

Geoffrey Cooke, Member of the Financial Inclusion Taskforce

Institute of Public Policy Research

National Consumer Council

Professor Elaine Kempson and Sharon Collard, Research Fellow, Personal Finance

Research Centre, University of Bristol

Which?

添付資料2. 米国における傾向としては、これまで大半の州(38州)で高コストの信用を規制・管理していたが、現在では小額融資に対する高コストを、上限金利の対象外とするか、それを可能とする特別法に基づき認めるようになってきている

アメリカ各州における法規制の実態



FSA

An international perspective on the regulation of consumer credit markets

**Administrative Meeting
for “PT regarding
money-lending system”**

28th January 2010

Policis

- London-based economic and social research consultancy
- Specialising in:
 - Research to support Government policy formulation
 - Credit and financial services markets
- Undertook international research on the impact of regulation on national credit markets for UK government to inform framing of 2006 Consumer Credit Act
- Facilitated research visits by both FSA and JFBA to UK regulators 2005 prior to framing of Money Lending Business Law

Regulators in all markets share common goals and consumer protection concerns

- Regulator aims and concerns:
 - Credit plays positive role in economy and society
 - Competitive and transparent markets
 - Prevent oppressive or unfair lender practice
 - Responsible lending
 - Cost of credit (for vulnerable borrowers particularly)
 - Over-indebtedness and insolvency
- International consensus on requirement for responsible lending, price transparency and consumer education
- Price and lending controls more controversial and regulator's approaches vary significantly between countries
- The result is very different credit markets and outcomes for consumers

Research for UK government suggested that controls on price and lending volumes have series of predictable effects

- If controls are effective the supply of credit is restricted:
 - Higher risk borrowers lose access to credit
 - These are typically low income consumers and small businesses
- Reduced credit supply creates hardship:
 - Most do without credit, so face difficulties in managing crises and major purchases
 - Some rejected borrowers turn to black credit market
- Financial distress rises as credit is withdrawn:
 - Cash flow difficulties increase for the most vulnerable on tightest budgets
 - Risk of insolvency increases for the most stressed
- Knock on effects for consumption and the economy

Differences between France and Germany in regulatory emphasis has produced very different credit markets

- France and Germany both have:
 - Long-established rate ceilings set at low levels
 - State-run credit delinquency register – with no lending to registered individuals
- France focuses on price controls and the management of over-indebtedness:
 - All components of regulation tightly specified and managed
 - Ceiling set at 33% above average rate – peaked at 27.09% in 1993
 - Comprehensive over-indebtedness regime managed by Banque de France
- Germany focuses on the prevention of default:
 - Germany relies on tradition of self regulation
 - Court defined ceiling of 2 x average rates, maximum 2006 21.1%
 - Rate for delinquent accounts by law lower than normal rate

UK and US both have more market-oriented approach with emphasis on price transparency and responsible lending

■ US

- Recent emphasis has been on price transparency and unfair lender practice
- Effectively national market for mainstream loans and credit cards
- High cost credit regulated at state level
- Mix of states with and without usury ceilings
- Majority of states (38) have exemptions for small sum loans or specific legislation to facilitate short term high cost loans

■ UK

- No price controls
- No restrictions on lending to high risk borrowers
- Agreements subject to “unfair” credit test
- Requirement to lend responsibly

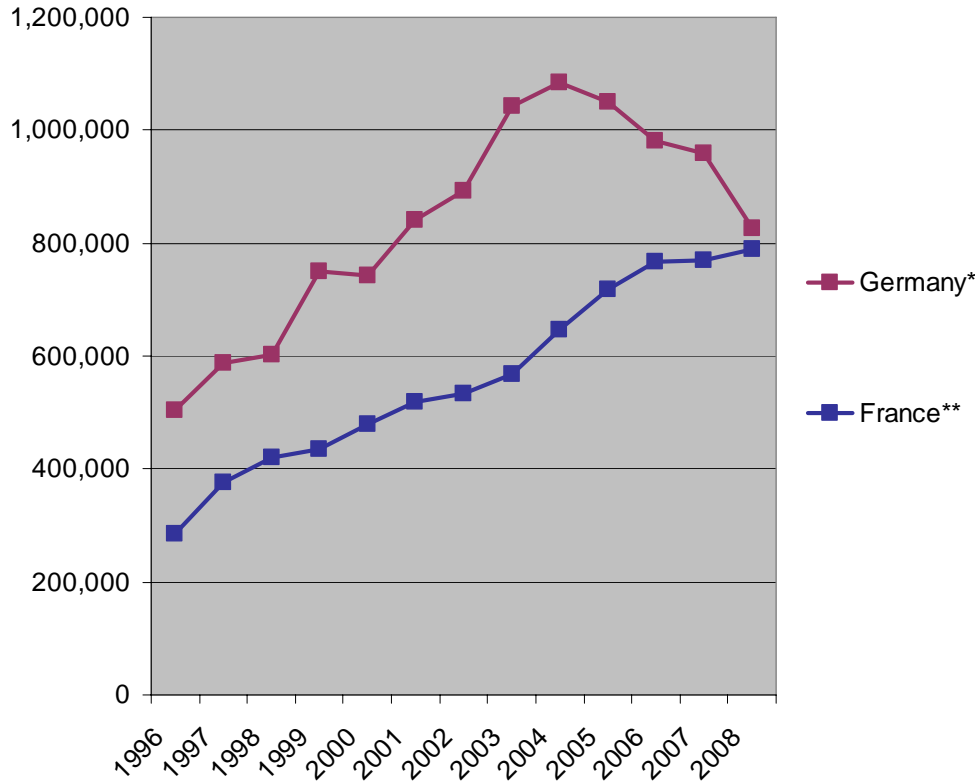
German credit market features high levels of exclusion while France exhibits high levels of credit delinquency

- Germany has achieved low default rates but at cost of credit exclusion and lower consumption:
 - Narrow product range based on term loans
 - Slow market growth
 - Significant credit exclusion of those on low incomes and higher risk borrowers
 - **BUT** this has not protected German consumers from high levels of over-indebtedness, which is significantly higher per head than France or UK
- France succeeds in keeping APR low, but with significant level of financial break-down among vulnerable borrowers:
 - Markets dominated by low APR revolving credit -
 - Rapid credit market growth and easy access to credit
 - High levels of delinquency with automatic referral to over-indebtedness regime
 - **RESULT:** large numbers over-indebted and excluded from financial mainstream
- Black market lending in both markets concentrated in those excluded from credit mainstream

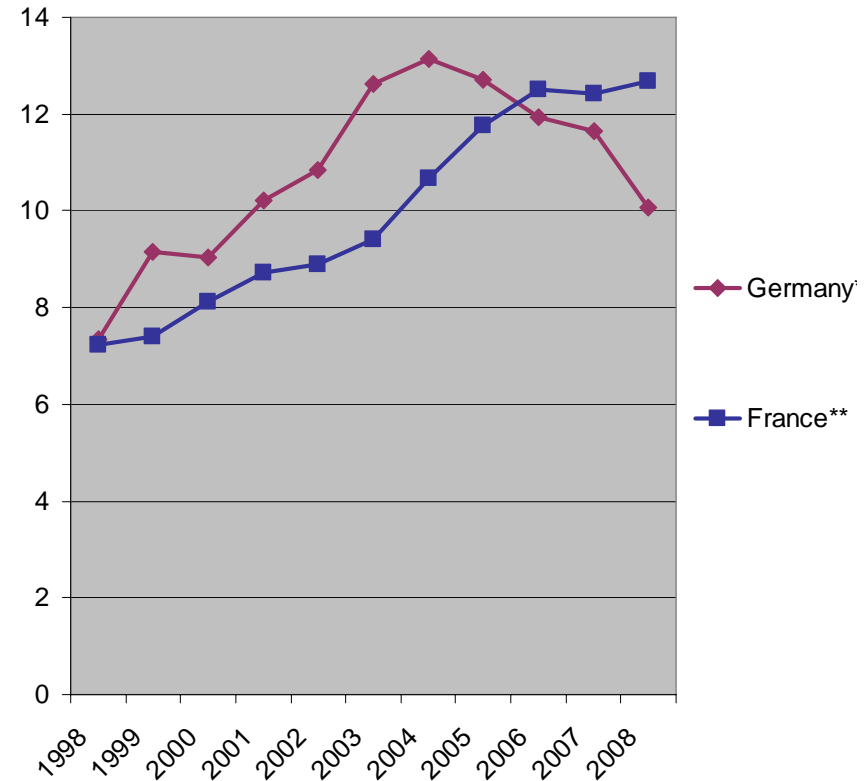
In both France and Germany rate caps have not prevented rising over-indebtedness among those on low income

Over-indebtedness trends in France and Germany

Individuals entering over-indebtedness / debt work out process



Individuals entering over-indebtedness process per 1000 of population

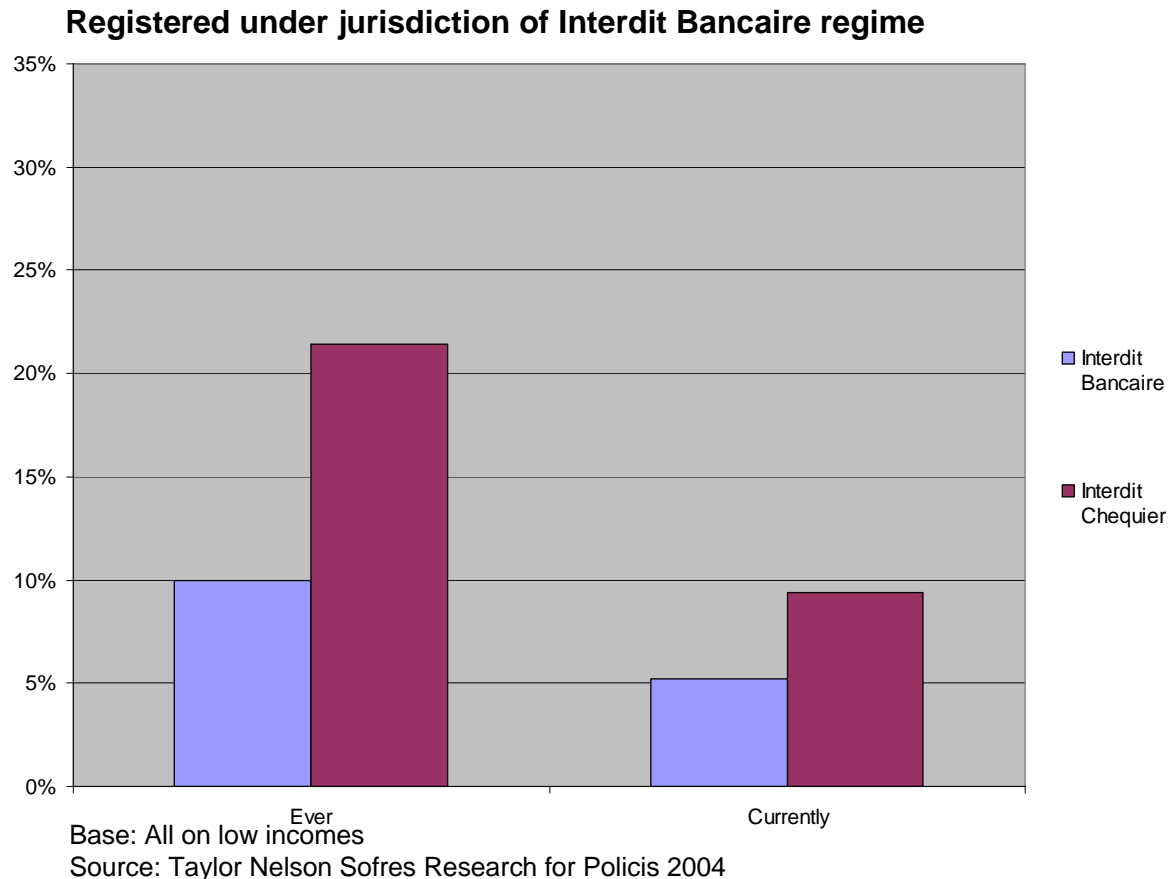


Source: Banque de France, FICP and Bürgel Wirtschaftsinformationen

*Eidesstattliche Versicherung

** FICP indebtedness procedure

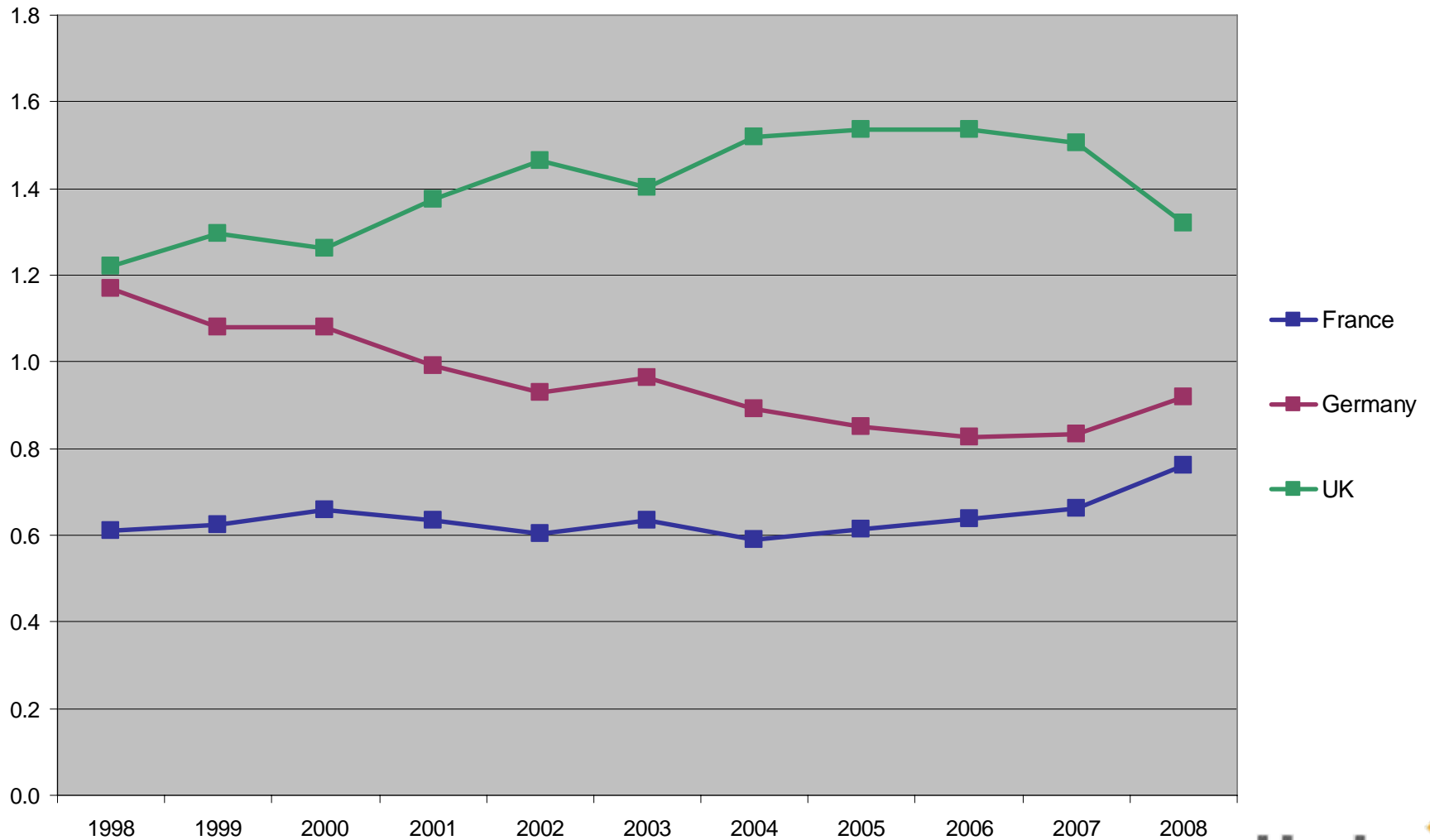
In France payment delinquency on low APR revolving credit shuts large numbers out of banking mainstream and access to credit



1 in 5 in lowest income quintile have been through “Interdit Bancaire Regime” and thus excluded from financial mainstream. 2.3 million individuals registered.

UK has highest debt per cap in EU but relatively low incidence of problem debt

Debt per head indexed against average for all UK France and Germany



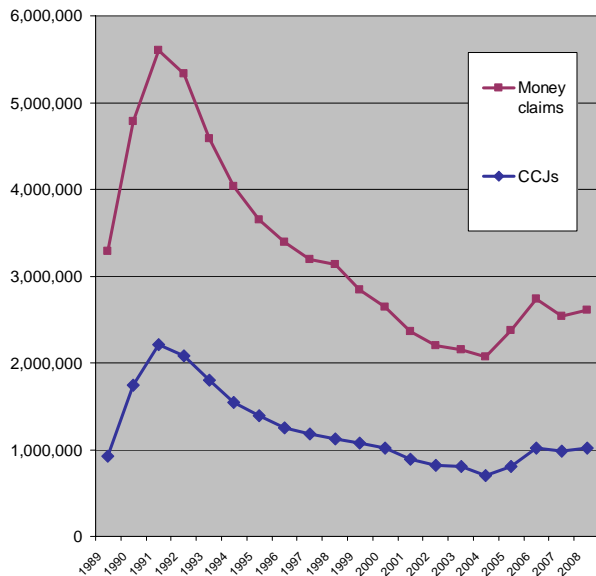
Source: Cofidis, ECRI, Bundesbank, Bank of England, Banque de France
1 = average for France, Germany and UK

UK market has been fast growth and has highest debt per capita in Europe but relatively low levels of serious problem debt

- Wide range of credit models and pricing
- Credit available to high risk borrowers
- Non standard lending small part of market (as in USA)
 - Small sum, short term loans can be very high cost
 - High cross-over between use of mainstream and “non-standard” lending
 - Sits alongside large social lending safety net”
- Black market small relative to France and Germany
- Highest levels of debt per head in Europe
- But low incidence of serious problem debt
- Problem debt and insolvency now rising rapidly, but from low base in comparison to France and Germany

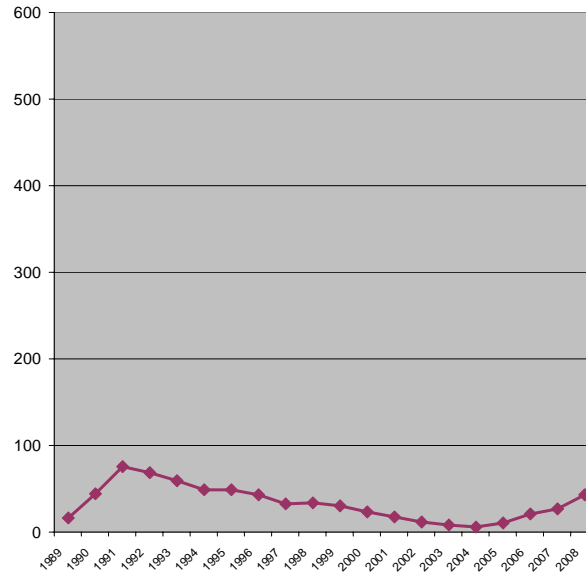
Serious problem debt trended down through decade of rapid credit growth in UK – rising recently from low base as credit supply shrinks

UK over-indebtedness trends
Court Judgements for debt



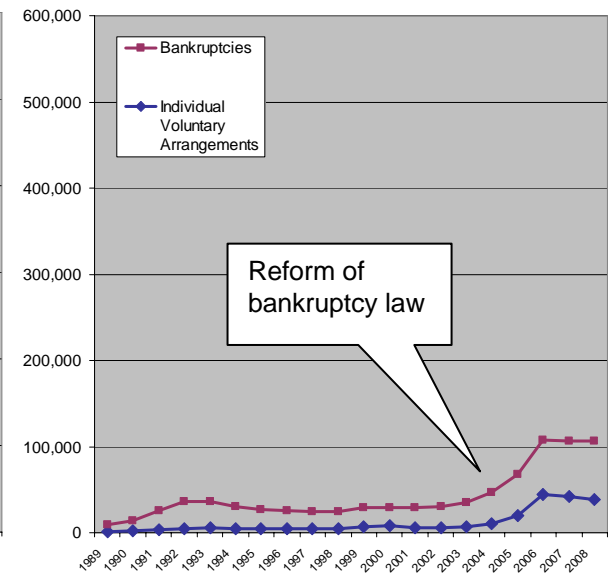
Source: Department for Constitutional Affairs, The Registry Trust Ltd

UK over-indebtedness trends
Mortgage repossessions 000s



Source: Council of Mortgage Lenders

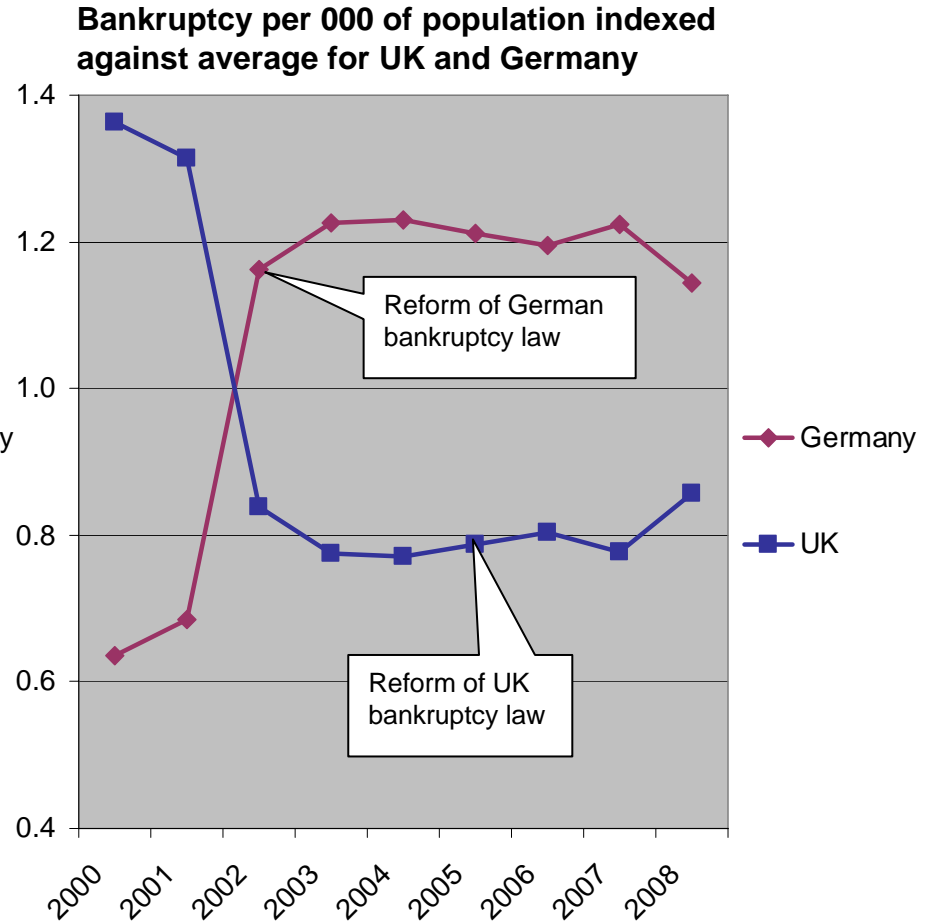
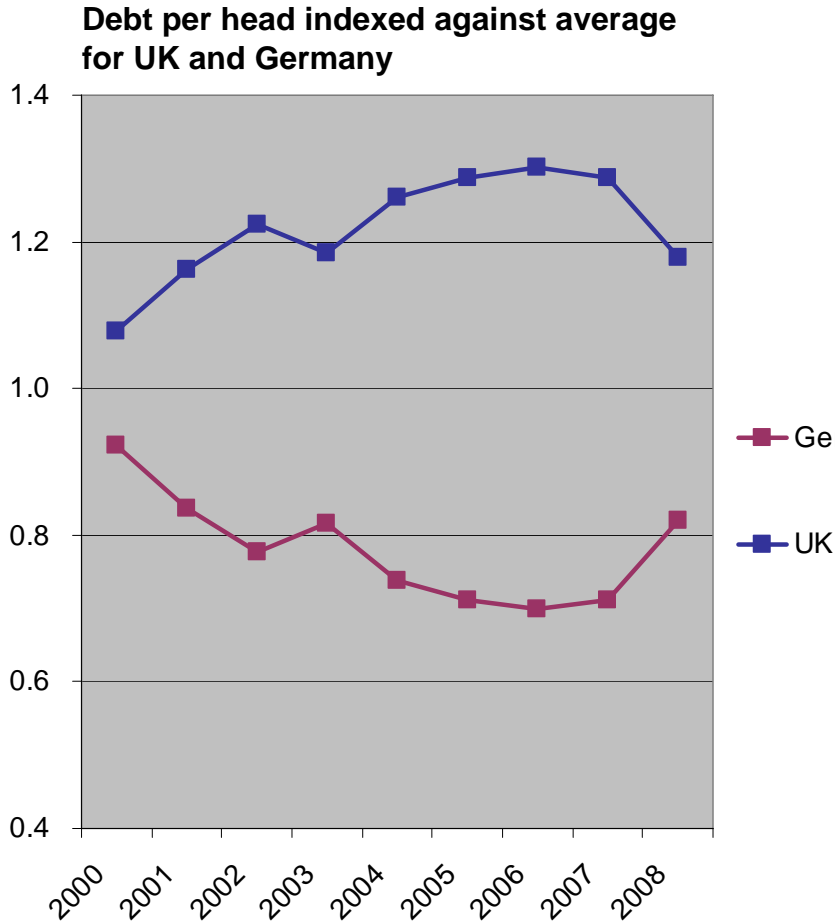
UK over-indebtedness trends
Individual voluntary arrangements and personal bankruptcy



Source: UK Insolvency Service

Debt per head much higher in UK than Germany but insolvency per 000 population in Germany significantly higher than UK

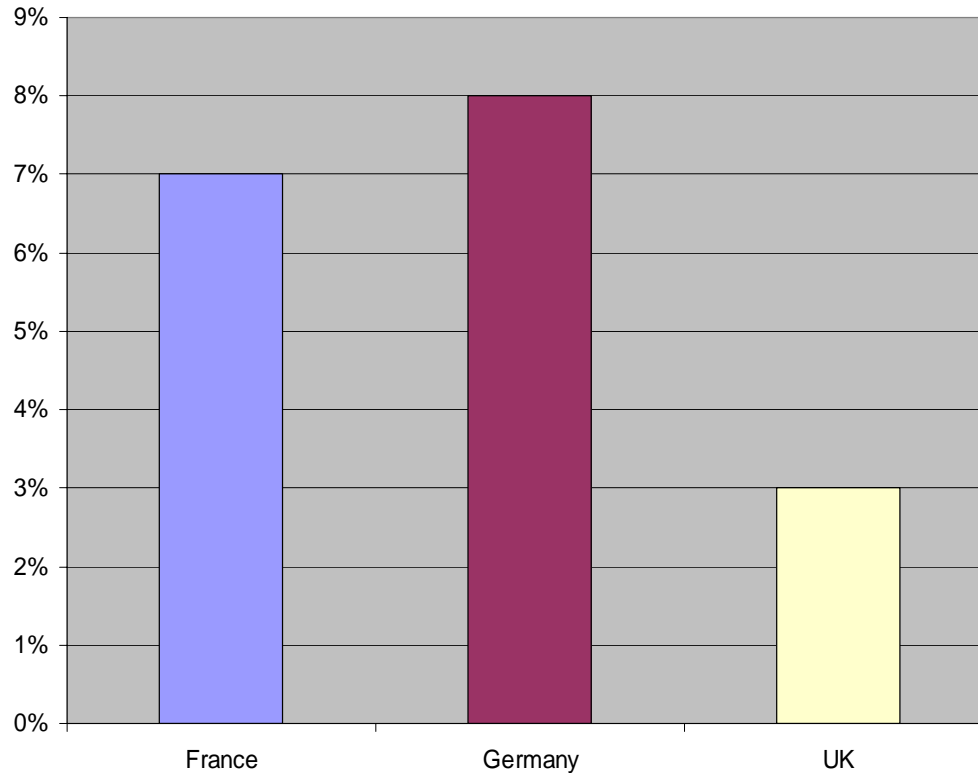
Debt per head and incidence of bankruptcy per 000 of population



Source: Bürgel Wirtschaftsinformationen, Insolvency Service
1.0 = average for UK and Germany

Black market lending is higher in the rate capped markets of France and Germany than the UK

Incidence of illegal lending in France, Germany, UK among the credit impaired



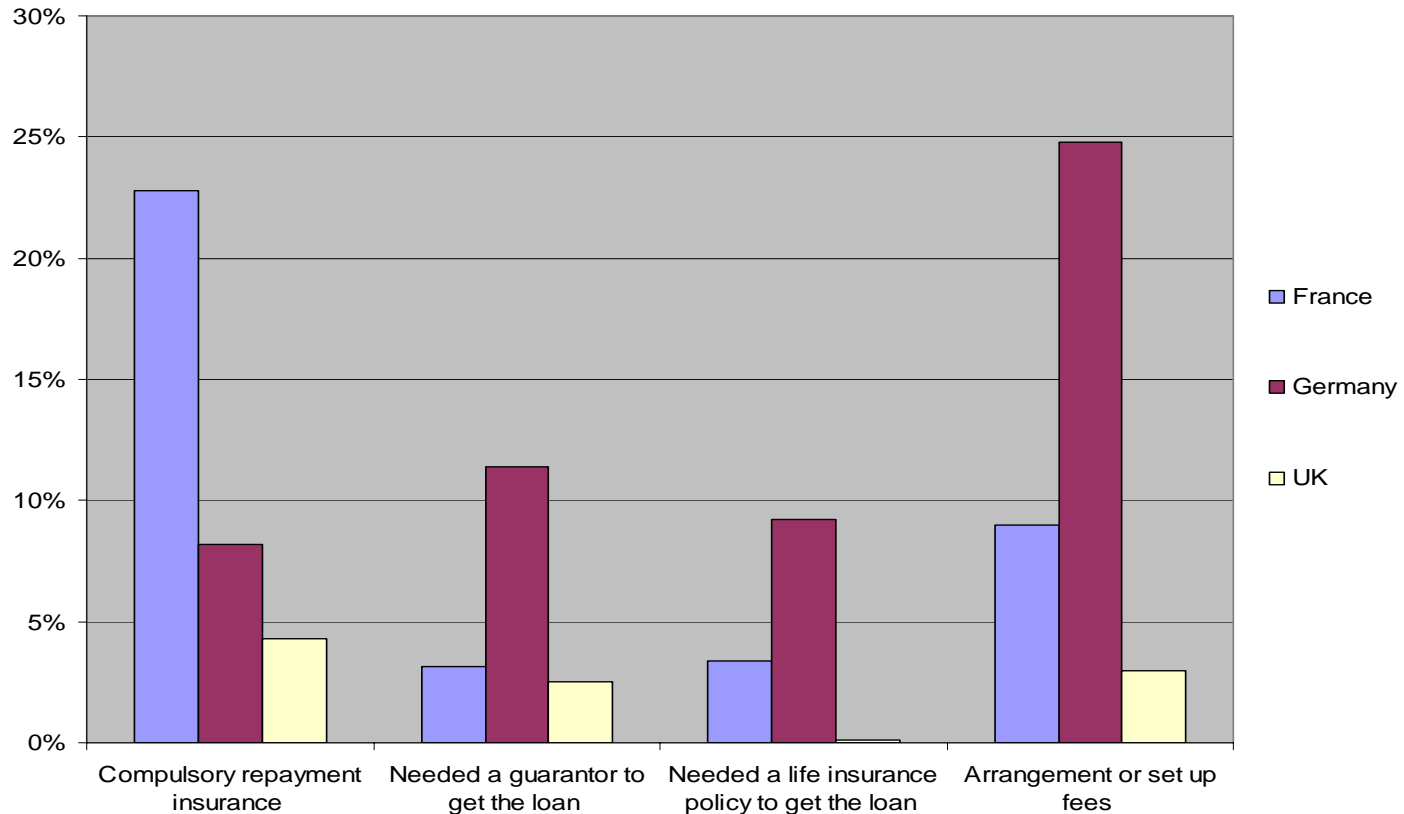
Base: Credit impaired

Source: Taylor Nelson Research for Policis 2004

Controls on the price of credit do not necessarily reduce cost of credit for vulnerable consumers or protect them from distress

- When controls tightened or introduced some borrowers benefit from cheaper credit:
 - Most reliable and better off borrowers benefit
 - For those with tendency to irregular payment, costs may increase
- Alternatively, controls are ineffective - lenders accommodate ceilings:
 - Lenders adapt products and pricing structures so that price for risk achieved
 - Cost of credit is shifted to mechanisms other than interest rates (most commonly behaviour-driven charges for over-limit cards or payment irregularity)
 - Price transparency compromised
- Risk that for most marginal borrowers:
 - Not only will costs increase
 - Outcomes of cash flow or credit difficulties may be more negative

High risk credit users in France and Germany are more likely to be subject to a range of ancillary charges than borrowers in UK

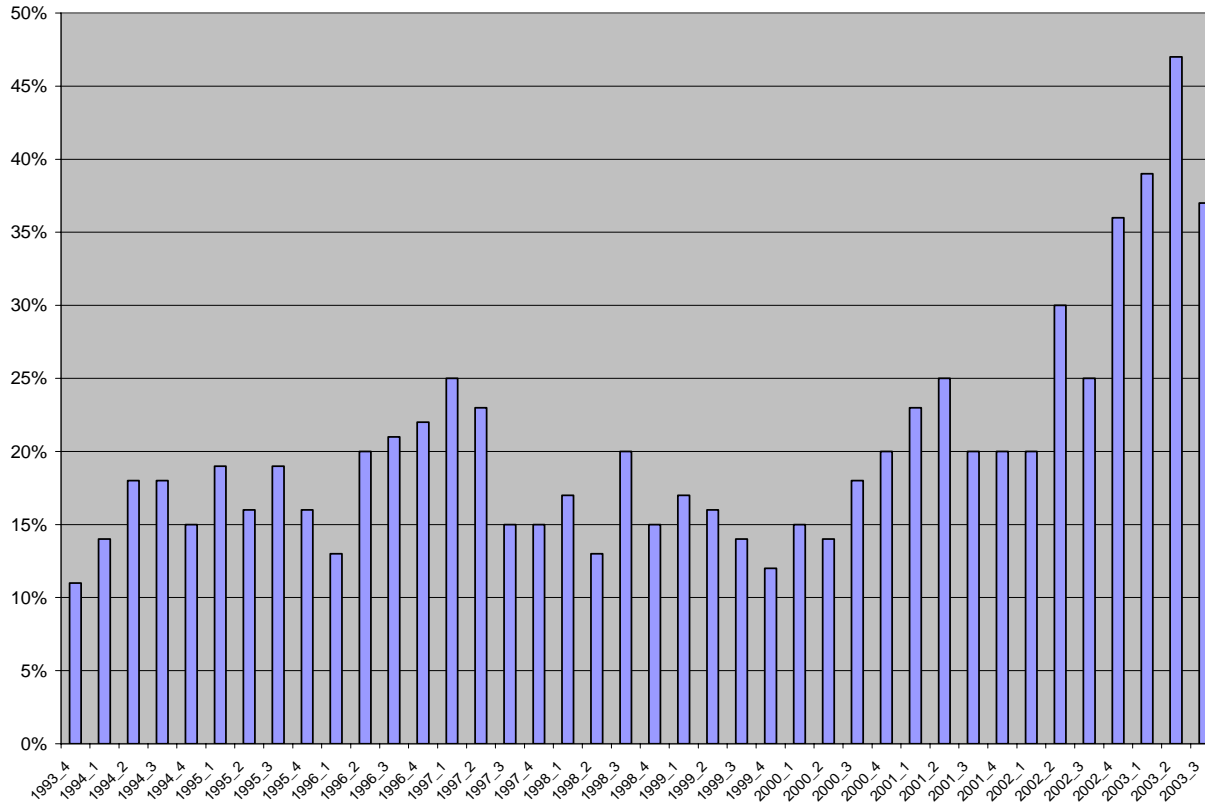


Base: Credit users

Source: Taylor Nelson Sofres Research for Policis 2004

In US states where high APR products prohibited, penalty charges on low APR credit consistently & significantly higher than in other states

Ratio by which late payments on revolving credit is higher in US states with ceilings and no high cost low value loan exemptions Quarterly over 10 years to 1993 - 2003



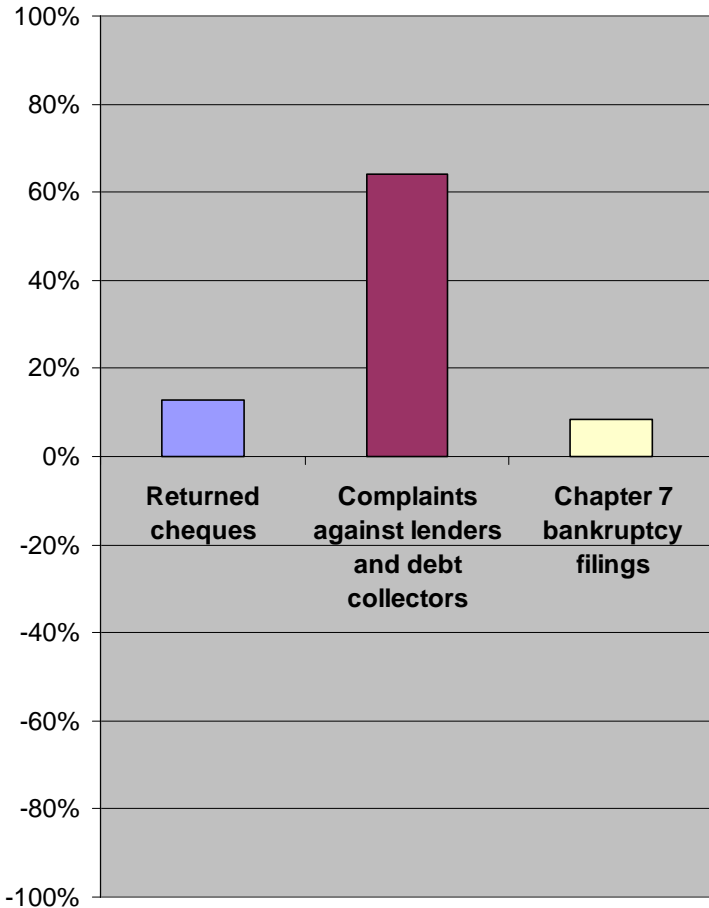
Source: TransUnion

Base: 340,000 US credit users

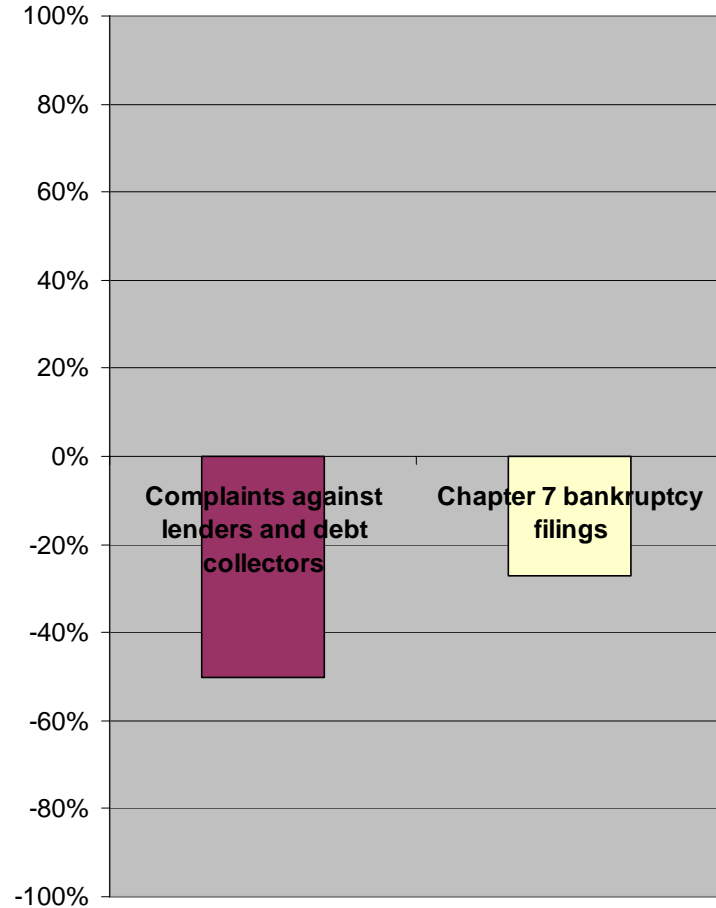
Source: Department of Trade and Industry UK, The Effect Of Interest Rate Controls in Other Countries, Policis, 2004

New York Federal Reserve study found that financial distress rose following high cost credit bans in US and fell when lending restrictions eased

In Georgia and New Caroline financial distress increased following effective payday lending bans in 2003



In Hawaii doubling of maximum loan size for high cost loans in 2003 was followed by decline in financial distress



Calculated on difference in difference basis on basis of controls in basket of states that did and did not allow payday lending

Considerable potential for unintended effects associated with effort to control price and supply of credit

- Price and lending controls and consequent restriction of credit supply will risk damage to the welfare of the most vulnerable
- The tighter the controls on price or lending volumes, the greater the likelihood that borrowers with a need for credit and ability to repay are refused loans
- Tightening controls on price will not necessarily reduce the cost of credit and may increase it under uneven payment conditions
- Restrictions on lending or price do not of themselves prevent over-indebtedness
- Tightened controls may lead to higher levels of financial distress and insolvency
- Stimulus to black credit markets may follow restriction of legitimate credit

Appendix 1

UK consumer protection groups campaigned against rate caps saying would damage interests of poor & open door to black market



21 October 2005

I am writing on behalf of a wide range of organisations that are expert in the field of financial inclusion and represent, or work with, low-income and vulnerable consumers.

We welcome the introduction of the Credit Bill, particularly clause 19 which introduces a broader concept of unfair credit. In the light of the Second Reading of the Bill in the House of Lords, which takes place on 24th October 2005, we would like to express our deep concern about the possible introduction of amendments that may lead to the introduction of an interest rate ceiling in the UK. We believe that the introduction of a rate ceiling would restrict access to credit among low-income consumers; at worst, it could lead to an increase in the use of unlicensed lenders.

Recent research suggests that up to 6.2 million low-income people of working age in the UK could potentially benefit from the wider availability of more affordable credit.

When you are considering the Consumer Credit Bill, we would ask you to consider the following facts:

- Research evidence indicates that the imposition of interest rate ceilings can exclude higher-risk borrowers from the licensed commercial credit market.
- Rate ceilings restrict the range and diversity of credit products that are available to consumers. As a result, even if higher-risk consumers are able to access credit, they may have to use credit products that are not appropriate for their needs.
- If a rate ceiling were introduced, it is likely that more credit would become tied to the purchase of goods. Retailers offering this type of credit would also increase their cash prices to recover the costs of supplying credit.
- Some lenders withdraw from the credit market altogether when a rate ceiling is introduced, reducing the access to credit for borrowers who already have few choices.

- Where credit exclusion occurs because of rate ceilings, some low-income or credit-impaired consumers have no option but to turn to unlicensed money lenders. The cost of borrowing from an unlicensed lender is invariably incredibly high and lenders may use aggressive or violent means of recovering the money they are owed.
- Another risk of an interest rate ceiling is that is that lender would recoup the cost elsewhere.

We urge you to oppose the introduction of any amendment that would introduce an interest rate ceiling in the UK. We believe that rather than delivering cheaper credit to low-income borrowers, it would instead exclude from the credit market those who already have little choice.

Yours sincerely

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Theresa Perchard'.

Theresa Perchard
Citizens Advice

Supporting Organisations:

Advice UK

Association of British Credit Unions Ltd

Geoffrey Cooke, Member of the Financial Inclusion Taskforce

Institute of Public Policy Research

National Consumer Council

Professor Elaine Kempson and Sharon Collard, Research Fellow, Personal Finance Research Centre, University of Bristol

Which?

Encs: Briefing note on the Consumer Credit Bill

Appendix 2. The trend in US has been to regulate and control high cost credit with majority of states (38) now allowing high cost on small loans as exemptions to usury ceilings or on basis of specific enabling legislation

Regulatory Geography USA

